

公益財団法人日本文学振興会

令和3年度事業報告書

1. 令和3年4月20日（水）午後3時より、東京會館・アゼリアにて、にて第28回松本清張賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

波木銅（田食銅より改名）「オールグリーンズ」

その贈呈式は6月23日（水）午後3時より東京會館 sakura にて開催(大宅壮一ノンフィクション賞と合同)、受賞者に正賞時計、副賞500万円を贈呈した。

2. 令和3年5月13日（木）午後3時より、帝国ホテル東京・牡丹の間にて第52回大宅壮一ノンフィクション賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

石井妙子『女帝 小池百合子』（文藝春秋）

その贈呈式およびは6月23日（水）午後3時より東京會館 sakura にて開催、受賞者に正賞100万円と副賞の日本航空株式会社提供による国際線往復航空券を贈呈した。

3. 令和3年7月14日（水）午後3時より、築地「新喜楽」にて第165回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 石沢麻依「貝に続く場所にて」（「群像」6月号）

李 琴峰「彼岸花が咲く島」（「文學界」3月号）

直木賞 佐藤 究『テスカトリポカ』（KADOKAWA刊）

澤田瞳子『星落ちて、なお』（文藝春秋刊）

その贈呈式は8月27日（金）午後3時より帝国ホテル東京・孔雀の間にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

4. 令和3年10月5日（火）午後5時より、東京會館・アゼリアにて第69回菊池寛賞選考顧問会を開き、下記の5件の授賞を決定した。

①小川洋子

静謐さをたたえ、美しさに満ちた独自の文学世界を構築。「全米図書賞」

「ブッカー国際賞」候補など海外でも高く評価される

②仲代達矢

日本を代表する俳優として幾多の演劇・映画に出演。また、みずから私塾「無名塾」を主宰し、後進の育成にも尽力

③高知新聞社 追跡・白いダイヤ取材班

ウナギを巡る密漁や闇取引の実態を、五年にわたり十都県・百人以上の関係者に取材。特集記事「追跡・白いダイヤ」に結実

④松岡和子

日本で三人目となるシェイクスピアの戯曲全三十七作の個人全訳を本年完結。原本に忠実かつ上演を前提とした訳は演劇人を魅了しつづける

⑤吉岡秀人

ミャンマー、カンボジア、ラオスなどまだ医療が行き届いていないアジアの貧困地域で、二十五年にわたり無償の医療支援を行う「継続する力」に

その贈呈式は12月3日（金）午後4時よりオークラ東京・平安の間にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

5. 令和4年1月19日（水）午後3時より、築地「新喜楽」にて第166回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 砂川文次「ブラックボックス」（「群像」8月号）

直木賞 今村翔吾『塞王の楯』（集英社）

米澤穂信『黒牢城』（KADOKAWA）

その贈呈式は令和4年2月24日（木）午後4時より帝国ホテル東京・孔雀の間にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

以 上